会員だより

京都市交通局

経営状況等の「見える化」～持続可能な事業運営を目指して～

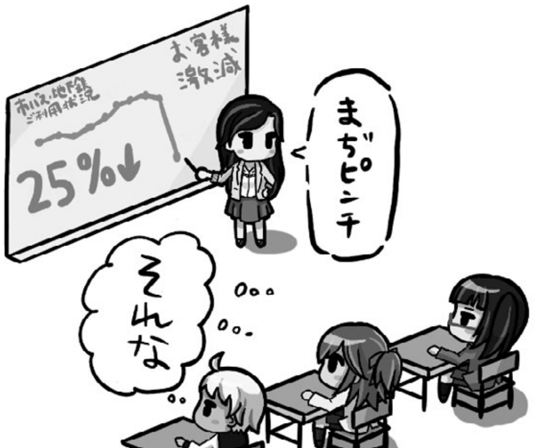
１　取組の背景

京都市交通局では、「伝える広報」より「伝わる広報」、「見える化」が重要との認識のもと、コロナ禍による市バス・地下鉄の厳しい経営状況についての情報発信において、どのような工夫ができるのか検討を進めてきました。

２　漫画・イラストによる「見える化」

「経営状況を漫画で分かりやすく発信できないか」という着想の中、イラストに長けた職員が在籍していたことから、職員が手描きしたイラストを活用した情報発信、「見える化」の取組を、令和４年度から開始しました。

第１弾は「まぢピンチ」として、新型コロナの影響でお客様数や運賃収入が落ち込んでいることを発信しました。



【第１弾：まぢピンチ】

その後も、「原油高による影響」や「市バスの混雑対策」、「烏丸線新型車両の必要性」など、局内でテーマを議論したうえで、交通局ホームページのトップ画面やＳＮＳ、市バス車内の交通局ニュースなど、様々な媒体で情報発信を行っています。

当初は、イラスト制作に経費をかけているのではないかとの批判の声もありましたが、職員自らが手描きしていることを発信することで、次第にＳＮＳでも話題となり、その後、新聞やテレビでも取り上げていただくなどの反響がありました。

【交通局ニュース：どうする手荷物】

３　更なる展開

令和５年度には、「見える化」の取組で制作したイラストを活用した「まぢピンチキャラクターＬＩＮＥスタンプ」の販売も開始し、「なりふり構わない経営改善」の一環として更なる取組を進めています。

また、この取組の反響が、企業の目にも留まり、まぢピンチキャラクターとの連携事業の依頼を受けることもあり、ステッカーやショートアニメが制作されるなど、新たな展開も生まれています。

市バス・地下鉄を次の世代に引き継ぐために、経営状況等の「見える化」を通じて、一人でも多くのお客様に市バス・地下鉄の厳しい現状を御理解いただき、御利用につなげてまいりたいと考えています。

【まぢピンチキャラクターLINE スタンプ】

<問い合わせ>
京都市交通局　企画総務部企画総務課
電話：０７５－８６３－５０３１